



卒業証書・学位記授与式／修了証書授与式



短期大学 入学式／専攻科介護福祉専攻 入学式

CONTENTS

2022年度 聖句

「キリストの言葉があなたがたの内に
豊かに宿るようにしなさい。」

(コロサイの信徒への手紙 第3章 16節)



理事長就任にあたって	2
入学式を迎えて	4
TOPICS	6
卒業生の活躍／地域連携について	7

理事長就任にあたって



このたび、和泉短期大学の理事長に選任されました。これまで、伊藤忠彦先生がその任を

担ってくださいましたが、ご健康の問題から任期途中で退かれることになり、急遽、その残任期間を引き継ぐことになったものです。

伊藤先生は牧師として、和泉短期大学において長年に亘ってチャプレン、教授、学長、理事長とお働きくださり、本学の理念と精神を守り、支え続けてくださいました。私も牧師として(それも伊藤先生から洗礼を受け、育てられた牧師として)、務めが与えられる限り、本学がこの地で主なる神から与えられた働きを果し続けて行くことができるよう、力を尽くさせていただきます。

本学を取り巻く状況は厳しいものがあります。短期大学の定員を、昨今の状況を踏まえて1学年250名から200名に適正化し、また、専攻科の募集を2024年度で停止する決断をいたしました。さらに、18歳人口はますます減少して行くことが見込まれています。

しかし、本学には66年間に及ぶ良き伝統があります。和泉短期大学は長年に

亘って、良き保育者と、幼児教育と福祉に真摯に携わる者を育て、送り出してきました。本学の特色は、ただ知識や技術を教えればよいとするのではなく、保育者また教育・福祉従事者としての人格を形成することを何よりも大切なこととし、愛と奉仕の精神を持った、確かな保育者・福祉従事者を育てようとしてきたところにあります。

時代が移り変わり行く中であっても、またどのような時代にあっても、真に必要とされているのは、まさに本学が育てようとして目指してきた保育者であり奉仕者であると確信しております。そして、そのような保育者を育てることこそが、主なる神がこの学び舎をこの地にお建てくださった目的であり、託してくださいたい務めだと思っております。従って、この基本的な姿勢は決して変えてはなりませんし、教職員・役員がこの精神を共有しつつ、一体となって学校の運営と教育に当たって行かなくてはなりません。

そのためにも、本学がキリスト教学校であることの意義をもう一度受け取り直したく思います。本学は建学の精神に「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」を掲げ、「愛と奉仕」をスクールモットーとしておりますが、キリスト教学校だからこそできる教育があります。

そもそも本物の愛と奉仕の精神は、主イエス・キリストの内にこそあると聖書は教えています。聖書が「わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります」(ヨハネの手紙一4章10節)と語るように、真の愛は、私たちのために十字架で命を捨ててくださいました主キリストの内にこそあります。また「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられました」(フィリピの信徒への手紙2章6-7節)とあるように、神の御子でありながら人としてこの世にお出でくださり、十字架の死に至るまで、徹底して人間の救いのために歩んでくださったキリストのお姿にこそ、私たち人間にはとても到達することのできない、真の奉仕の姿があります。

このような、私たちが愛であると思っていた以上の愛があり、私たち人間にはとても到達することのできない真の奉仕をなさるお方を仰ぎつつ歩むのが、キリスト教学校です。チャペルでの礼拝において、この愛が私自身に向けられていることを知り、その愛を身に受け、味わう

理事長 須田 拓

中で、そのキリストから「互いに愛し合いなさい」「あなたも行って同じようにしなさい」と、神がやはりその愛で愛しておられる人々のところに送り出されて行くのです。

本館の入口には、ラテン語の刻まれたプレートが埋め込まれています。ex hoc Christi fonte, pyritas et caritas inventivis svrgant(願わくは、このキリストの泉から若者たちの清らかさと愛とが湧き出でんことを)。ただの泉(fons)ではなく、キリストの泉(Christi fons)と言われていることが重要です。キリストの下からこそ本当の愛と奉仕が生まれてくると、この学校は確信して参りました。

十字架を掲げ、このキリストの前に立つ学校であるからこそできる保育者養成があります。キリスト教学校であることが大切につつ、地域からも、確かな保育者を養成していると信頼される学校であり続けることができるよう、努めて参りたく思います。そして、この真の愛の泉に向かいつつ、社会に必要とされ、喜ばれる保育者を育てると共に、地域とも連携しつつ、私たちがさらにどのような務めを担って行くことができるのか、常に時代に先駆けて模索して参りたく存じます。

2021年度 表彰者

眞鍋記念奨学金(後期)

1年 白井 一輝
(日本工業大学駒場高等学校 出身)



1年後期において、眞鍋記念特別奨学生に選出されたことを嬉しく思います。選出は対面やリモートを繰り返しながら必死に課題に取り組み、同期と研鑽を積んだ結果だと思えます。同期には「ありがとう」と伝えたいです。最後の1年も新しいクラスで切磋琢磨し、現場で活躍のできる保育者を目指して学校生活を楽しんでいきたいです。

1年 中畑 望華
(県立上溝南高等学校 出身)



この一年間を振り返って、多くの学びを得ることができたと感じました。特に、後期は実習があり、これまでの学びがより実践的なものになりました。今後も支えてくださる周りの方々や、楽しく学べるこの環境に感謝し、より一層勉学に励みたいと思います。そして、自分が理想とする保育者になれるよう、頑張っていきたいです。

2年 角井 風香
(県立相模原青陵高等学校 出身)



和泉でのこの2年間は私にとってかけがえない時間でした。私がかここで歩むことができたのは周りの方々の

の支えあってのものです。コロナ禍であっても学生の健康・安全に考慮しながら和泉らしい授業を進めてくださった先生方、ともに笑い合い、辛いときに支えてくれた仲間感謝の気持ちでいっぱいです。和泉での学びを、そして出合いを大切にして自分らしくこれからも頑張っていきたいです。

2年 山中 麻以
(文化学園大学杉並高等学校 出身)



和泉での2年間は同じ夢を持つ友達と一緒にグループワークをして様々な考え方を知り色々な視点に気づきながら学びを深めることができたと感じています。同時にコロナ禍でも勉強のしやすい環境を整えてくださった先生方にとっても感謝しています。和泉で身につけたスキルを自信にかえこれからも精一杯頑張っていきたいと思っています。

専攻科介護福祉専攻 大筋果菜子
(県立相模原総合高等学校 出身)



新たな分野である介護を学ぶにあたって1年という短い期間である上に新型コロナウイルスによる制限がある中でついていけるのか不安であったが、一人一人に目を向け、手厚く授業をしてくださった先生方や、共に学んでくれた友人が居てくれたことで、このような功績を残すことが出来たのだと思います。これから施設職員としての人生、この1年間の経験を糧にし、日々精進していきたいと思っています。

讃岐和家記念賞

2年 中井 涼花
(神奈川県立上溝高等学校 出身)



この度はこのような素敵な賞に選んでいただき、大変嬉しく思います。和泉での2年間はついにコロナ禍のなかで終わってしまいましたが、コロナ禍であるからこそ人との関わり的重要性や尊さを感じることができました。和泉で受け取った愛を感じながら、卒業後も周りの人との出合いを大切にしたいと思っています。

学長賞(後期)

2年 厚海 俊輔
(図書館サポーター)



図書館サポーターとして学長賞をいただくことができ、大変嬉しく思います。2年を振り返り、大変なこともありましたが、最後までやり抜くという強い覚悟で入学し、学生生活を送ってきました。無事卒業できたことを自信にして、自分のペースでまた、穏やかな心で保育士兼栄養士として日々子どもたちと向き合っていきたいと思っています。

2年 三瓶美智恵
(図書館サポーター)

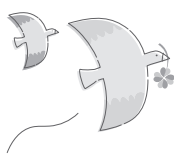


愛と奉仕の心を持ち、自ら進んで行動し、食欲に学び、邁進した2年間でした。楽しさ、悔しさを経験しながら、学ぶという大切さを噛み締めました。そのなかで図書館サポーターとして図書館内の装飾やお届け企画を立案し、皆が楽しんで図書館を利用できるように実行して、他学生や先生方と充実した学生生活を送り、日々を楽しみました。今後は、子どもたちと一緒に学び続ける保育者であり続けようと思っています。

2年 田久保杏佳
(県立瀬谷西高等学校 出身)



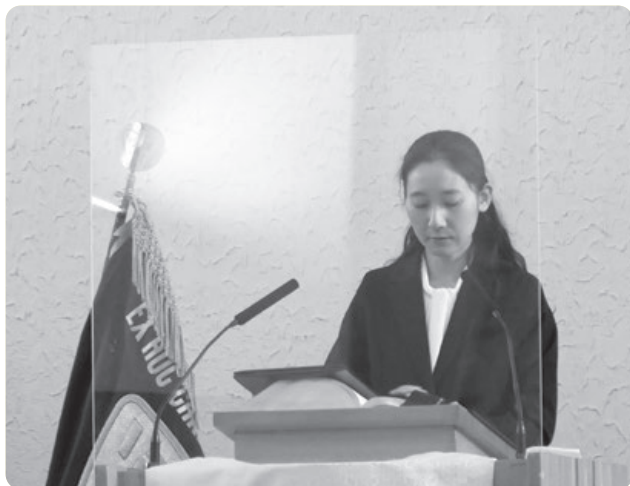
この度は、学長賞という素晴らしい賞をいただき大変光栄です。和泉短期大学の2年間で、様々なことを学ばせていただきました。特に図書館サポーターでは、相手に図書館や本の魅力をどのように伝えるのかなど、相手の立場に立ち考えることの大切さを学ぶことが出来ました。本学の経験をいかし保育者として精進して参りたいと思います。



2021年度後期 学修奨励奨学金奨学生(6名)

安川 千尋 / 佐々木 祐奈 / 齋藤 美佳 / 菅原 愛子 / 金城 奈々 / 片寄 菜摘

第58回入学式を迎えて



新入生のことば



私は高校生の頃幼児教育という選択科目をとっていました。その中で何度も心が挫けそうになり、子どもに関わる道に携わるのを諦めようと考えました。そんな時アルバイトをきっかけに福祉の道に

児童福祉学科 鈴木 麻衣
(県立城山高等学校出身)

関わるようになり、様々な子どもがいる中でこの子たちの為に何かをしたいと考え、唯一児童福祉学科の和泉短期大学に入学しました。2年間で、障がいがあるなしに関わらず様々な子どもへの支援を学び子どもの笑顔と共に自分自身も楽しんでいける保育者を目指したいです。



私が保育の道を目指すそうと思った理由は、幼稚園児の時に世話になった担任の先生に憧れたからです。また、高校のインターンシップで保育園へ行った際、子どもたちのキラキラした笑顔を見て、私も

児童福祉学科 塚越 朱音
(県立上溝高等学校出身)

その笑顔を増やす存在になりたいと思ひ、より一層保育に興味を持ちました。2年間で国家資格の取得を目指す和泉では、大変なことも多いと思います。だからこそ、同じ目標を持つ友達と共に学び、充実した学生生活を過ごしていきたいです。



私が専攻科介護福祉専攻へ進学したいと思ったのは、障がいについての理解を深めたいと考えたからです。私は、将来子どもだけでなく障がいのある方や高齢者まで広く支援できるようになりたいと思っ

専攻科介護福祉専攻 佐藤実沙季
(県立相模原総合高等学校出身)

ています。そのためには児童福祉学科での学びに加え、さらに幅広い知識と介護の専門的な技術が必要だと考え、専攻科介護福祉専攻に入学したいと考えました。一年後に自信をもって支援者として働けるようになるために、日々の授業や実習に一生懸命に取り組む努力していきたいと思ひます。

和泉短期大学入学式祈禱

チャプレン (准教授) 坂井 悠佳

和泉短期大学のまことの創立者であられる父なる神

和泉短期大学第五八回入学式、専攻科介護福祉専攻第一三回入学式を挙げて下さいます幸いを感謝いたします。あなたの御名によって建てられた和泉短期大学を祝い、ここに執り行われます入学式を御心になうものとしてください。

父なる神、あなたは、保育・幼児教育・福祉の担い手を養成するために、和泉短期大学を建ててください。ここに学ぶ者たちを集めてください。今日、和泉短期大学に入学する一人ひとりは、あなたによって保育・幼児教育・福祉の担い手となるという志を与えられ、ここへと招かれて参りました。あなたが、一人ひとりを御心に留めて、名前を呼び、この場へと集めてください。ありがとうございました。その志を、祝福してください。守ってください。これを全うするために必要な全てのものを与えてください。よろしくお願いいたします。和泉短期大学における全ての出来事を、御手の内に置いてください。学園生活をお導きください。

この入学式は、受難節に行なわれております。あなたは、愛する独り子、御子イエス・キリストをただ十字架にかけるために、この地上へとお送りくださいました。人となられた御子は、幼子を祝福し、人々の病を癒やし苦痛を取り去り、最も低い者となられて、全ての人々に仕えてくださいました。そして、十字架において、御自分の命まで私共のために献げてくださいました。御子は、父なる神の御心に従い、仕えられるためではなく仕えるために、私共のもとへと来てくださいました。御子イエス・キリストによって、

私共はあなたの愛を知らされまし

た。新入生の一人ひとりが、あなたが私共を愛してくださる謙遜をもつて、あなたと隣人とに仕える、保育・幼児教育・福祉の担い手になることができますように、「愛と奉仕」に歩む者になりますように、お導きください。

命の泉である御言葉に聴き、御言葉に立つて、あなたによって与えられた使命を全うしていくことができますように、常に共にいて、語り掛けてください。この和泉短期大学を築立つときに、キリストの香りを放ち、あなたの栄光を世に対して指し示す者として、あなたが用意してください。働き場へと遣わされていくことができますように、この学園での日々を守り、支え、導いてください。

イエス・キリストの福音に立ち続ける和泉短期大学に連なる全ての者を、神であられながら、最も低くなられて、神と人とを愛され、神と人とに仕えられた御子に倣う者にしてください。私共が、不安や争いに満ちている世界に對して、その御子のお姿を、あなたから託された務めを通して、確かに指し示していくことができますように、和泉短期大学の歩みをお守りください。私共のわざを用いてください。

ここから始まります、和泉短期大学での、新入生の歩みの全てをあなたにお委ねし、この祈りを、主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン



2022年度 新入生研修会

和泉短期大学の建学の精神は「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」です。4月8日(金)に、新入生研修会を開催しました。和泉での学生生活の始まりに、今後の学びの土台を築くためのプログラムです。

新入生研修会の中心はキリスト教音楽講演会です。相模中央キリスト教会音楽主事である江原美歌子先生による「賛美歌ってどんな歌?」と題した音楽講演会。ジャズピアノリストである十時節子先生の伴奏とともに、江原先生の美しい賛美が和泉クラーク・ホールに響きました。そして先生のお人柄が、これから本格的に学生生活をスタートさせる新入生の心にメッセージとして届けられる、素敵で貴重な時となりました。

また、キリスト教音楽講演会と並行して、宗教部オリエンテーションを動画視聴の形で行いました。本学での学びの基盤となるチャペルアワーについて、その意味や昨年度のチャペルアワーの様子などを分かりやすく伝えました。併せて、学生聖歌隊、I, C, F (和泉クリスチャンフェローシップ)、宗教委員の教職員などについても紹介しました。新入生は動画を真剣に視聴し、自主的にメモを取っている学生も多数いました。キリスト教学校である本学で、新入生一人ひとりが心豊かな学生生活を送ってほしいと心から願っています。



TOPICS

第34回 介護福祉士国家試験 18名全員合格

第34回介護福祉士国家試験の結果が、2022年3月25日(金)に発表され、和泉短期大学 専攻科介護福祉専攻の学生は18名受験し、全員合格しました。

合格基準は総得点125点に対し、得点75点以上の方です。合格率72.3%。和泉短期大学は、昨年に続き4年続けて合格率100%です。なお、受験校255校中13番目の合格者数です。

コロナ禍の苦しい1年間、一生懸命、真摯に授業、実習そして国家試験対策に取り組んだ成果です。合格おめでとうございます。



「光触媒除菌・脱臭装置」を教室等に設置

新型コロナウイルス感染症拡大防止として安心・安全な授業環境を整備するために「光触媒除菌・脱臭装置」を昨年度に引き続き、新たに13室26台を設置したことにより、キャンパス内の殆どの教室・センター等に設置したことになります。

・1号館(104教室、105教室、200教室、201教室、204教室、205教室、301教室、ミュージックラボラトリー、進路支援センター、キャリアデザインセンター、ラーニングセンター will、事務局長室)
・2号館(介護実習室) 合計13室26台

「光触媒除菌・脱臭装置」は、ウイルス、有害物質、細菌などに汚染された空気を光触媒技術により分解し、清浄化された空気にする機械です。新型コロナウイルスに対する感染力の抑制効果も確認されており、多くの病院等で利用されています。

本学は2022年度も新型コロナウイルス感染防止の徹底と清潔・換気を心がけていきます。



スクールバス車内にドームカメラ設置

4月からの一斉授業開始に向け、スクールバス(大型3台、中型1台)車内の中央天井にドームカメラを設置しました。本学スクールバスは感染症対策としてドームカメラ(車内前方)、前面カメラ、オゾン発生装置、換気扇を設置しています。

学生の安全・安心について最大限の対策をしておりますので、学生のみなさんは安心して通学してください。



2021年度 国際ソロプチミスト相模「夢を生きる賞」授与式

児童福祉学科2年 佐藤美悠梨さんが、2022年2月22日、和泉短期大学理事長室において、国際ソロプチミスト相模の山田洋子会長より「夢を生きる～女性のための教育・訓練クラブ賞」を授与されました。

1972年以来、国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョンは、今以上の教育や技能訓練を得ることによって、より良い生き方を目指している女性に賞金を提供し応援してくださっています。この賞の受賞は、今年度で3回目です。

佐藤さんは、2年間の和泉短期大学児童福祉学科での学びを経て、夢であった児童養護施設に就職します。



同窓会いずみ第12回定期総会を開催

2022年2月26日(土)和泉短期大学101教室に於いて、2022年同窓会いずみ第12回定期総会を開催し、13名の参加がありました。

長らく新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、設立以来初の試みとなるオンライン(Zoom)開催となりました。

学校法人和泉短期大学理事 土橋正文事務局長による開会祈祷で始まり、大下聖治副学長挨拶、遠藤陽子会長挨拶に続き、2021年活動報告、決算報告、監査報告、2022年活動計画(案)、予算(案)、任期満了による新役員を選出について審議し、全て原案どおり承認されました。新会長には、和泉短期大学42期卒業 川井起彦氏を選出され、就任の挨拶がありました。

遠藤陽子会長はじめ、白井智恵子さん、洲藤和泉さんには、2015年7月に就任以来6年半、重責を担っていただきありがとうございました。



和泉短期大学父母会から寄贈されたガーデンパラソルの奉獻式

和泉短期大学父母会からガーデンパラソル5基が寄贈され、2022年4月1日(金)入学式後、和泉クラーク・ホール前で「奉獻式」を行いました。

ガーデンパラソルは、和泉クラーク・ホール前に1基、食堂のテラスに4基設置しました。土橋正文事務局長の司会、坂井悠佳チャプレンの司式により、讃美歌演奏、聖書朗読、祈祷が行われ、佐藤理事代理、佐藤守男学長から感謝の言葉を述べ、父母会前会長前田淑美様からお言葉をいただきました。



2021年度 第11回ベストオブスタッフ賞(事務局長賞)

教育・学習支援ユニット(基礎学力支援者)として高等学校教諭の経験を十分に活かし学生の基礎学力向上に努め、学生一人ひとりに合わせた公務員試験対策講座を実施し地道に熱心に支援し、その結果7地方公共団体における公立保育士の合格者10名を輩出しました。更なる支援をお願いすると共に2021年度ベストオブスタッフ賞として、土橋正文事務局長から「賞状と金一封」を贈りました。

教育・学習支援ユニット 基礎学力支援担当 小山 カさん

栄えある賞をいただき、身に余る光栄と感じております。私の役割は、来室した学生がいま必要としている学習ができる環境と材料を提供するという事です。そういう場をつくるにあたっては、進路支援センターや事務局のスタッフ、そしてラーニングセンターと一緒に学生を見守り励ましを送り続けてくださった和泉先生などさまざまな方々のお力があって、はじめて学生たちは学習に集中して取り組めたのだと考えています。

この情勢下、大学生活のパターンも学生の意識も年毎に変化しています。同じことの繰り返しでは決してうまくいかないと考えており、学生の一人ひとりに目を向けながら最善を尽くしてまいりたいと考えております。今後とも皆様のご指導とお力を賜りたくお願い申し上げます。



卒業生の活躍 (第24回)

社会福祉法人県史福祉会 幼保連携型認定こども園 若松こども園
 (二〇〇七年三月卒業生) 主幹教諭 武田 優子さん



17年前の4月、和泉短期大学に入學した私は、児童福祉の学びに期待を膨らませていました。専門性の高い先生方の授業がとても貴重であったことを社会人となり実感し、子どもや保護者のニーズへの対応力、児童療育、家族支援などの学びがとて生かされています。行事に向けたグループや「造形遊び」の活動を共に過ごした仲間は、悩みに寄り添ってくれ、お互いに高め合い、目標へ懸命に取り組むことで達成感を共感していました。この経験はいつまでも心の支えです。

卒業後、障がい者施設等の仕事、子育てを経て、現在の法人に入職し現在の園に配属されました。すべての人に分かりやすい構造化を取り入れた園内

環境、インクルーシブ保育、子どもの主体性を信じた見守り保育を実践しており、一人ひとりがとても輝いています。「自分でできた!」という成功体験を乳児期から重ねることで自信を得て、幼児期には自ら考えて行動する姿が見られます。

昨年度より園では防災教育により力を入れ、災害時の生き残りリユックを個人で所有したり、広域避難場所や経路を子どもたちと確認しました。5歳児にはタブレット端末を導入して学習プログラムに取り組み、自ら操作や探索していく力を伸ばしたり、興味関心を広げ、文字の筆順、書くことへの意欲と自信に繋がりました。

今年度より幼保連携型認定こども園若松こども園となり、安心安全の下、スマートこども園、乳児期のムーブメント教育による認知発達プログラム、幼児期の幼児教育内容の充実を目指して取り組んでいるところです。未来を見据え、子どもたちの生きる力を育む養護と教育をこれからも実践していきます。

地域連携

相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定証授与

2022年3月8日(火)和泉クラーク・ホールにおいて、相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定表彰式を行いました。

相模原市地域活動・市民活動ボランティア認定は、相模原市民を対象とするボランティア活動であり、主に相模原市内で行われる活動です。相模原市内の施設・団体を拠点とした活動だけでなく、相模原市内の施設・団体による行事の引率等で市外に出かける活動、本学の実施している「はっぴい」、「すまいいい」、オレンジリボン作成・配布など、様々な活動を含みます。2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響であまり活動はできませんでしたが、本学からボランティア博士(150時間以上)に1名が認定されました。和泉短期大学はこれからも学生とともに地域に貢献してまいります。



児童福祉学科2年
三瓶美智恵さん
<ボランティア博士>

「国際ソプロチミスト相模」2021年度Sクラブ、シグマソサエティ助成金贈呈式

2022年2月22日(火)和泉短期大学 理事長室にて、『国際ソプロチミスト相模』(山田洋子会長)から和泉短期大学(土橋事務局長)に対し助成金の贈呈式がありました。

国際ソプロチミスト相模から本学に対しての助成金(60,000円)は、2005年度から始まり本年度で17回支援していただいております。

2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ハンドベル活動が思うように出来ませんでした。ポストコロナに備えての活動費等としてハンドベル・クワイア活動に使用させていただきます。



2021年度『教育環境充実資金募金』報告

2021年度「教育環境充実資金募金」については、教育活動等に対して、951,000円を充当させていただきました。
ここに2021年度教育環境充実資金募金報告を致します。多くの皆様にご賛同いただき、心から感謝申し上げます。

募金目標額	10,000,000円	ご寄付者総数	56件
募金期間	2021年5月1日～2022年3月31日	寄付金総額	951,000円
寄付者一覧(敬称略)	<2022年2月16日～2022年3月31日> 国際ソロプチミスト相模 会長 山田 洋子 以上1件	募金対象事業	・1号館 教室ブラインド交換工事 ・1号館 教室照明器具LED電球交換工事 ・1号館 教室ウイルス除去防臭装置設置工事

2021年度 和泉短期大学『愛のいずみ基金奨学金募金』報告

2021年度「愛のいずみ基金奨学金募金」報告を致します。多くの皆様にご賛同いただき、心から感謝申し上げます。

募金目標額	3,000,000円	募金対象事業	経済的事情により修学困難な学生を支援するための本学独自の給付型奨学金基金
募金期間	2021年6月1日～2022年3月31日	奨学金実績	2021年度は、給付条件に合う該当学生がいないため、寄付金は2022年度に繰り延べさせていただきます。
ご寄付者総数	60件		
寄付金総額	1,176,000円		

退任あいさつ

専攻科介護福祉専攻 特任准教授 出村由利子



2年前コロナの到来とともに赴任し、マスク姿のまま皆様とお別れすることになりました。思うようにならない日々でしたが、必要なものは全て与えられた恵みの日々でした。学生たちとお腹を抱えて笑い、時には一緒に涙を流しました。解剖生理の苦手な学生に消化管の説明にチーズとちくわ、副腎を説明するのにイチゴ大福などお手の手を使いましたが美味しく終わりました。いつしか新作戦をたて学生と向き合うことを楽しんでいました。今しか学べないことがありました。想定外を楽しんだ、そんな和泉での日々でした。マスクなしでまた皆様とお会いしてたくさんお話できますように。全てに感謝いたします。

庶務ユニット施設担当 栗林 直樹



昭和57年10月、26歳で御採用いただき、通算37年間お世話になりました。
一緒に入職した栗原徹さんは、5年半勤めた後、笠間焼の陶芸家として飛び立っていきました。彼は、和泉で働いた事を、今も誇りに思っていると最近語ってくれました。

私は、学生時代に林竹二氏や灰谷健次郎氏に心酔して、志を持って入職致しました。40年経過して、その思いが必ずしも完遂されたとは言い難いのが無念ですが、満ちていない部分は、次のステージで完成したいという挑む気持ちでおります。至らない点、多々御迷惑をお掛けした部分があった事をお詫び申し上げます。

在職中の40年間で社会の状況は、目まぐるしく変化しました。本物だけが生き残れる試験の時代に晒されています。和泉が更に輝き、使命を果たし続けていかれる事を祈り続けております。有難う御座いました。

2021年度末で退任された非常勤の先生方(敬称略)

(児童福祉学科)

大城美沙子(2021年9月～2022年3月)<子ども家庭福祉>
久保寺節子(2021年4月～2021年9月)<保育内容総論>
古橋真紀子(2021年4月～2021年9月)<特別支援保育Ⅱ>

大羽 太郎(2021年4月～2021年9月)<特別支援保育Ⅱ>
中條 桂子(2021年9月～2022年3月)<子ども家庭福祉>

永年、和泉短期大学の教育に貢献していただき感謝いたします。